

GALLERIES

ART OSAKA 2023 開催報告書

EXPANDED

2023.9

ごあいさつ

大阪を周遊する盛夏のアートフェア「ART OSAKA 2023」

好評のうちに閉幕

第21回目となる現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2023」を7月26日(水)-31日(月)の日程で開催いたしました。猛暑の中での実施となりましたが、多くの方にお越しいただき賑わいを見せ、好評のうちに閉幕することができました。

北加賀屋エリアの「Expandedセクション」は、クリエイティブセンター大阪(CCO / 名村造船所大阪工場跡地)に加え、元家具店をギャラリースペースに改修したkagoo(カグー)にフェアを“拡張”しました。中之島エリア・大阪市中央公会堂での「Galleriesセクション」とともに、大阪が誇る重要文化財や近代化産業遺産を活用した特徴のある3会場に、若手から美術界を牽引するベテラン作家までが集結し、現代美術を堪能できる6日間となりました。

また、今年から「Expandedセクション」の入場料を「大学生以下無料」とし、アートフェアの公共性を高める試みをしました。会期中、多くの学生の来場に繋がり、他のフェアや美術館ではあまり例を見ない取り組みとして、評価を得ることができました。

「ART OSAKA 2023」にご来場くださった皆様、出展ギャラリーの皆様、開催にあたりご支援くださいました関係企業・団体の皆様に心より御礼申し上げます。

入場者数：約7180名 [昨年比：約4700名]

内 訳：Galleriesセクション：約2680名

Expandedセクション：約4500名 (2会場のべ)

売上総額：約1億1500万円 [昨年比：約2億1500万円]

[内訳：Galleriesセクション：1億200万円、Expandedセクション：1300万円]



MAKI Gallery (Galleries セクション)



NAZE | FINCH ARTS (Expanded セクション)

開催概要

開催名称 ART OSAKA 2023
チケット ART OSAKA チケット 3000円 / 当日窓口券3500円
Expandedチケット 1500円 (当日窓口のみ)

-Galleriesセクション*ブース形式のセクション

会場 大阪市中央公会堂(国指定重要文化財)
[大阪市北区中之島1丁目1-27]
開催日程 7月28日(金)~30日(日) [内覧会:28日(金)VIP・招待客・プレスのみ]
出展数 46軒

-Expandedセクション *大型作品、インスタレーションに特化したセクション

会場 クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)
[大阪市住之江区北加賀屋4丁目1-55]
kagoo(カグー)
[大阪市住之江区北加賀屋5丁目4-19]
開催日程 7月26日(水)~7月31日(月)
出展数 20組

主催 一般社団法人日本現代美術振興協会

[特別協賛]

 千島土地株式会社

[協賛]



Les Ateliers Moree
Paris



NOMURA

PRESTIA
SMBC信託銀行

安井建築設計事務所



静岡銀行

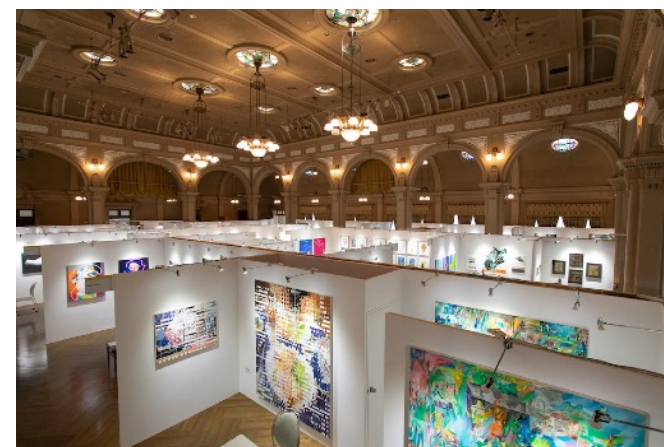


精華堂

the globe co.,ltd



株式会社大林組、三菱地所株式会社、サントリーホールディングス株式会社、三菱UFJフィナンシャル・グループ、株式会社りそな銀行、みずほ銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社ケイオス、泉海商運株式会社、医療法人 芳歯会 ウエハシ歯科医院、株式会社ART OFFICE OZASA、株式会社ウェアハウス、谷間総合会計事務所、株式会社宮本工業所、餅匠しづく、ホルベイン画材株式会社、ASSET BANK 株式会社
[協力] クリエイティブアイランド中之島実行委員会、一本松海運株式会社、平成コミュニティバス株式会社、株式会社 Luup
[後援] 大阪市、公益財団法人大阪観光局、水都大阪コンソーシアム、一般社団法人関西経済同友会
[パートナー] DELTA、UNKNOWN ASIA、毎日新聞旅行、Art Scenes(株式会社TODOROKI)、ONE ART Taipei
[助成] 不大阪市助成事業



出展ギャラリー Galleriesセクション *は初出展

大阪 (12軒)

アートコートギャラリー
カペイシャス
DMOARTS
ギャラリーノマル
KAZE ART PLANNING
Nii Fine Arts
ノートギャラリー
studio J
TEZUKAYAMA GALLERY
サードギャラリーAya
Yoshiaki Inoue Gallery
YOD Gallery

京都 (6軒)

アートゾーン神楽岡
FINCH ARTS
GALLERY TOMO
イムラアートギャラリー
MORI YU GALLERY
小出由紀子事務所

愛知 (5軒)

AIN SOPH DISPATCH
GALLERY IDF
ジルダールギャラリー
ケンジタキギャラリー
masayoshi suzuki gallery

東京 (19軒)

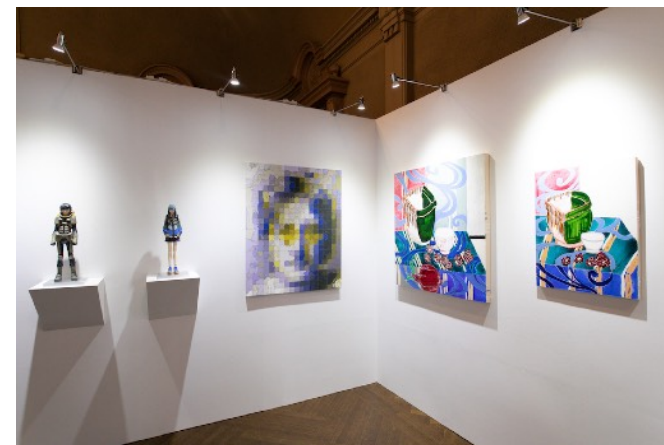
AaP/roidworksgallery
eitoeiko
FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート
Gallery 38
GALLERY KOGURE
GALLERY麟
hpgrp GALLERY TOKYO
KOKI ARTS
MAKI Gallery
MARUEIDO JAPAN
メグミオギタギャラリー
MEM
西村画廊*
タグチファインアート
TARO NASU*
ときの忘れもの
小山登美夫ギャラリー
万画廊
Yu Harada

台湾 (3軒)

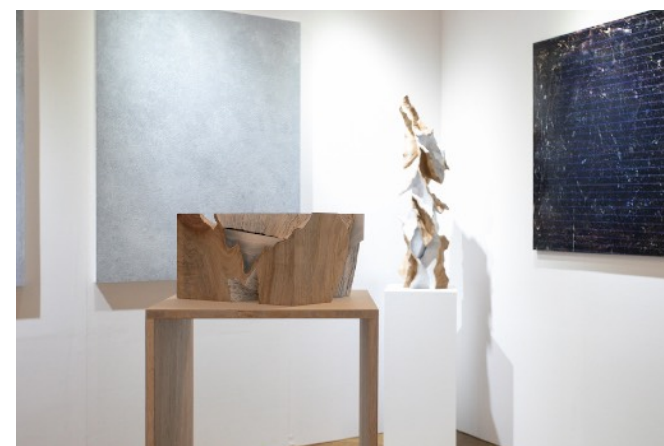
AKI GALLERY
Der-Horng Art Gallery
朝代画廊Dynasty Gallery

韓国 (1軒)

gallerychosun



Yoshiaki Inoue Gallery



AIN SOPH DISPATCH



サードギャラリーAya

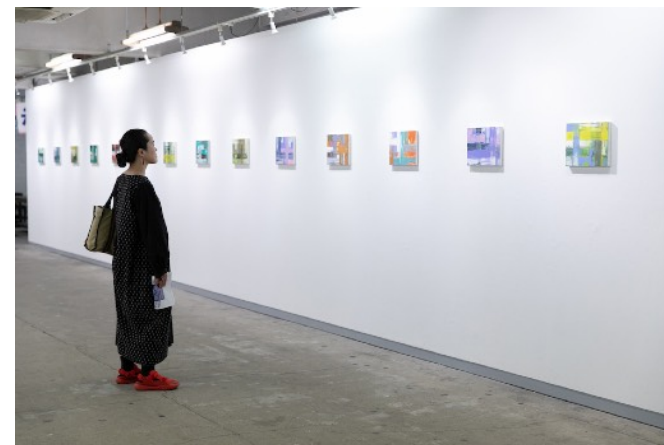
出展作家 | ギャラリー Expandedセクション *は初出展

クリエイティブセンター大阪（CCO）：15組

- 菅木志雄 | 小山登美夫ギャラリー
中島一平 | Gallery OUT of PLACE
若木くるみ | アートゾーン神楽岡
須田日菜子 | GALLERY KOGURE
松田将英 | EUKARYOTE*
杉谷一考 | GALLERY TOMO
今野健太 | HARMAS GALLERY*
並木久矩 | ギャラリーMOS
大崎のぶゆき | ギャラリーほそかわ
シーズン・ラオ | Nii Fine Arts
釜本幸治・長谷川政弘 | ノートギャラリー
新野洋 | YOD Gallery
黒川彰宣 | MORI YU GALLERY
NAZE | FINCH ARTS
木村剛士 | TEZUKAYAMA GALLERY

kagoo（カグー）：5組

- ケビン・ハイスナー | J-Collabo/BEAF*
葭村太一 | Marco Gallery*
artists for streetsummit 2023 Dotmasters & 久村卓 | ギャラリーかわまつ
岡田佑里奈 | biscuit gallery*
松岡柚歩 | CANDYBAR Gallery*



中島一平 | Gallery OUT of PLACE



ケビン・ハイスナー | J-Collabo/BEAF

会場の様子 Galleriesセクション

日本の現代美術を牽引してきたギャラリー

日本の現代美術ギャラリーの草分け的存在である西村画廊（東京）*1は、日本を代表する彫刻家である舟越桂（1951-）や三沢厚彦（1961-）、伝統的な日本画を用いながらシュールな絵を描く町田久美（1970-）など、美術館のコレクションクラスの作家たちの共演で来場者を魅了しました。「Art in CASO」以来の出展となったTARO NASU（東京）*2は、「ヴェネツィア・ビエンナーレ2019」の国代表にも選ばれたジョージ・オズボルト（1967-）のブラックユーモアに満ちた鮮やかなドローイングをはじめ、国立国際美術館（大阪）に所蔵されている作家の作品をメインに紹介しました。小山登美夫ギャラリー（東京）はExpandedセクションと連動させ、菅木志雄（1944-）のユニークな小作品をはじめ、国内外の大御所から若手までを幅広く紹介。MAKI Gallery（東京）は、豊かな色彩で不和や混沌を描き出す山本亜由夢（1995-）とマスクングを描画素材のひとつとして使用し抽象と具体のあわいを描く塔尾茉莉（1994-）という、90年代生まれの2名の大型作品を中心に展示、一際美しく、迫力のあるブースでした。

若手、中堅作家の動向を見られる場としてのART OSAKA

アウトサイダーアートを扱う先駆的なギャラリーである小出由紀子事務所（京都）*3は、2022年に滋賀県立美術館の展覧会で14メートルもの緻密な大作を出展し話題となった鵜飼結一朗（1995-）の作品や、今年のトークゲストでもある福岡伸一氏（生物学者 / 作家）が愛するアフリカの画家サイモン・ジョージ・ムパタ（1942-84）の作品も紹介しました。YOD Gallery（大阪）*4では、たかくらかずき（1987-）を個展形式で紹介しました。仏教や東洋思想の世界観にインスパイアされたアニメーションや、デジタルを絵画化した作品など、独自の世界観で異彩を放った展示でした。ギャラリーノマル（大阪）*5では、存在の痕跡や気配をテーマに絵画作品を発表している新進気鋭の作家、小谷くるみ（1994-）を紹介。鉄錆の酸化や銀箔の硫化など、素材と向き合いながら制作した作品を展示しました。

台湾、韓国の主要ギャラリーの出展

コロナ禍以来、アジアからの出展がありました。台湾を代表する現代美術ギャラリーであるAKI GALLERYは、Chih-Hung Kuo（1982-）やHsin-Ying Liu（1991-）など、台湾の若手作家が描く風景画や重厚な人物画を紹介しました。同じく台湾のDer-Horng Art Galleryと朝代画廊Dynasty Gallery*6はともに設立して30年近くのギャラリーです。前者は日本人の田島大介（1993-）など、細密で装飾的な作風の作家たちを紹介、後者は、Yu-Ching Lin & Hsing-Yu Wei（1983-）と、Yu-Wen Hungの鮮やかで軽やかな絵画、立体作品を紹介しました。gallerychosun*7は、Woo Minjung（1985-）のプリミティブな作風のペインティングや、韓国の主要美術館にコレクションされているMin Sunghong（1972-）の日用品をカラージュして擬人化した立体作品などを紹介しました。

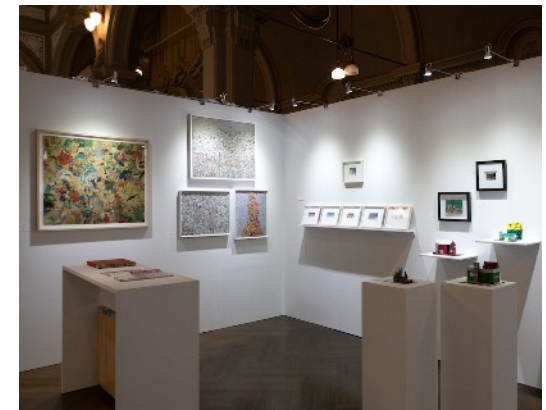


1.西村画廊

Galleriesセクション
会場写真 *一部抜粋



2.



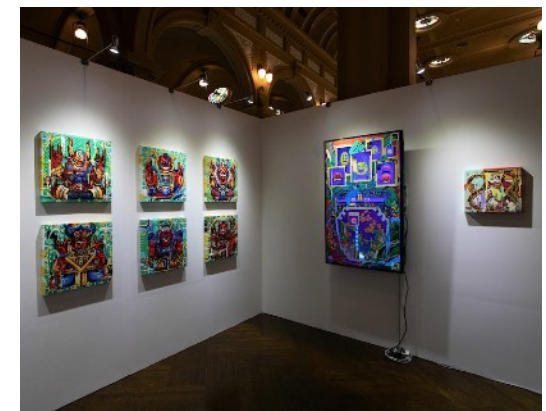
3.



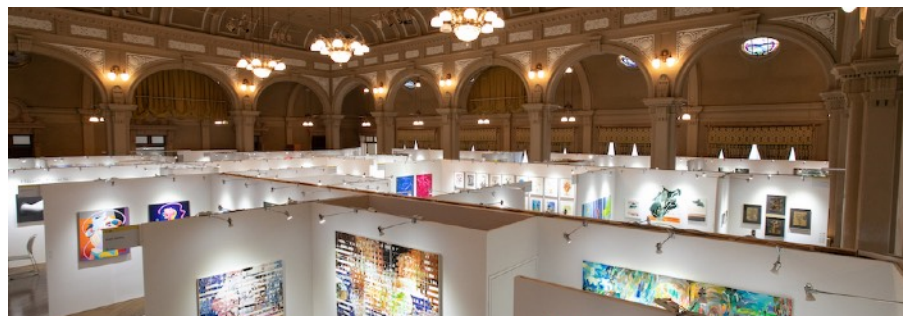
6.



7.



4.



5.

- 2.TARO NASU
- 3.小出由紀子事務所
- 4.YOD Gallery
- 5.ギャラリーノマル
- 6.朝代画廊Dynasty Gallery
- 7.gallerychosun

会場の様子 Expandedセクション

Expandedセクションでは、1960、70年代から活躍を続けている菅木志雄（1944- / 小山登美夫ギャラリー）や中島一平（1948- / Gallery OUT of PLACE）などのベテランから、今年東京藝大を卒業した須田日菜子（1998- / GALLERY KOGURE）をはじめとする若手まで、2会場で計20組の作家が、大型作品やインスタレーションを展示販売いたしました。

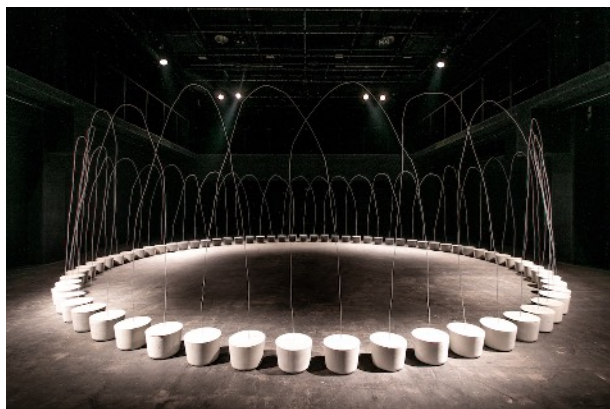
サイトスペシフィックな作品としては、セメントとワイヤーの連なりで、変化し続ける人々の営みや自然との関わりを浮かび上がらせた菅木志雄《間連空》^aや、一直線で等間隔の作品の連続を会場から望む大阪湾の水平線とリンクさせた中島一平《窓から -大阪南港バージョン-》^b、自らを映す鏡の作用を版と版画で表現した若木くるみ（1985- / アートゾーン神楽岡）《セルフイー》^c、造船の旧製図室に展示された木村剛士（1980- / TEZUKAYAMA GALLERY）による8隻の船が天空を航行するかのようなインスタレーション《see the sun》^dなどが挙げられます。

来場者自身がスマートフォンを介して参加できるインタラクティブな作品も展示されました。松田将英（1986- / EUKARYOTE）《Portrait》^eは、描かれた著名アーティストのハッシュタグ（#）を読み取ると、インスタグラムの投稿画像の一覧が

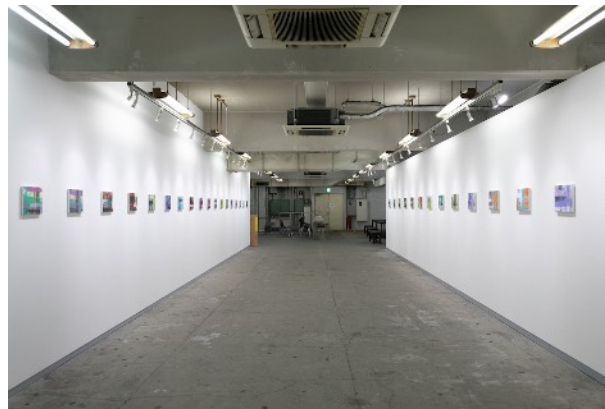
表示され、その投稿数によって作品価格が決定するというユニークな作品。ブルックリンを拠点とするケビン・ハイスナー（1970- / J-Collabo/BEAF）は、AR作品や、食べられる作品を販売するなど、来場者が身体そのもので体感するインスタレーション《うたかたの雲：トランス周波数解放》^pを展示しました。

隣同士の作品が緩やかに繋がり影響し合うのもExpandedセクションの魅力です。Google Mapで見つけ出した世界各地の落書きを木彫にした葎村太一（1986- / Marco Gallery）《34° 37'21"N 135° 28'29"E》^qと、ストリートアーティストと彫刻家のユニットartists for streetsummit 2023 Dotmasters & 久村卓が仕立て上げたほったて小屋《ハット・トリック》^rは、“落書き”という共通テーマがありながら、全く異なるアプローチとなっています。

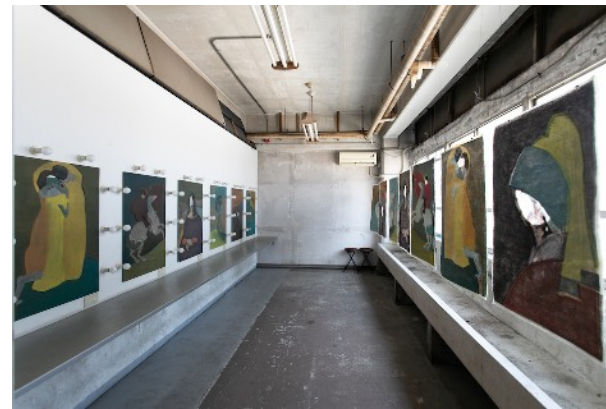
多様なアーティストの芸術祭レベルの力作を紹介できる場となり、学芸員やキュレーターなど多数の美術関係者の目に触れる機会となりました。また、大阪府下の芸術高校や芸術大学の学生たちがツアーで訪れ、次世代の方々に現代美術を間近で体感する機会を創出することができました。



a. 菅木志雄 | 小山登美夫ギャラリー



b. 中島一平 | Gallery OUT of PLACE

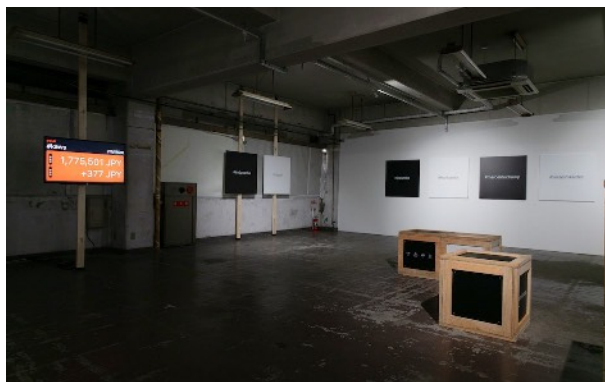


c. 若木くるみ | アートゾーン神楽岡

Expandedセクション 会場写真



d. 須田日菜子 | GALLERY KOGURE



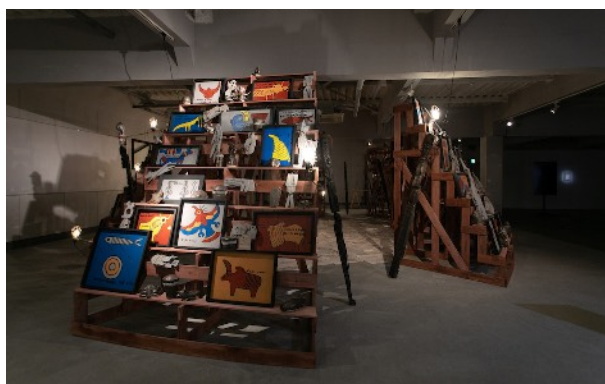
e. 松田将英 | EUKARYOTE



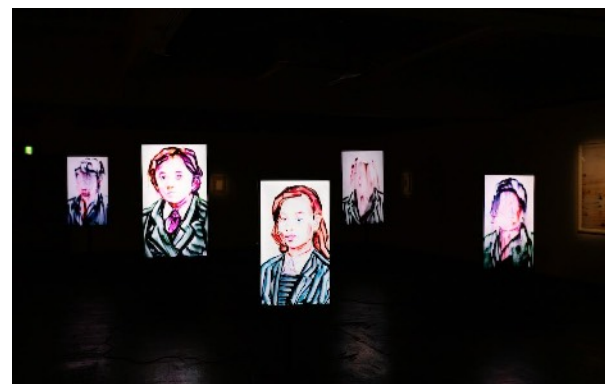
f. 杉谷一考 | GALLERY TOMO



g. 今野健太 | HARMAS GALLERY



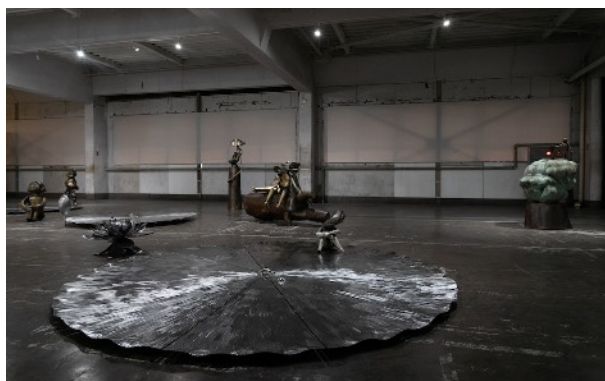
h. 並木久矩 | ギャラリーMOS



i. 大崎のぶゆき | ギャラリーほそかわ



j. シーズン・ラオ | Nii Fine Arts



k. 釜本幸治・長谷川政弘 | ノートギャラリー

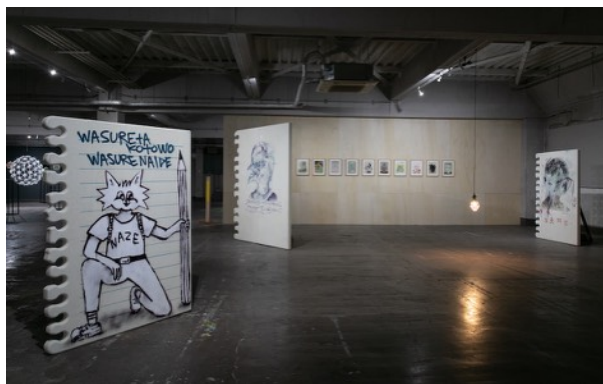


l. 新野洋 | YOD Gallery

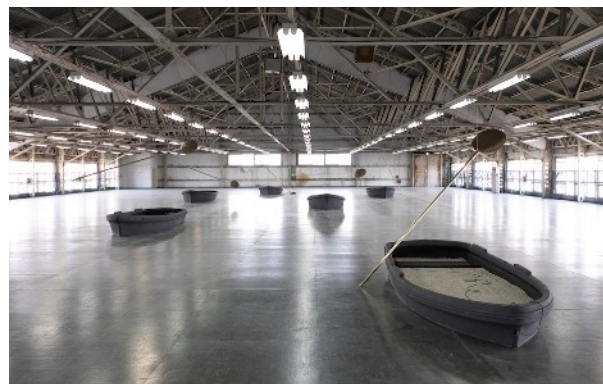
Expandedセクション 会場写真



m. 黒川彰堂 | MORI YU GALLERY



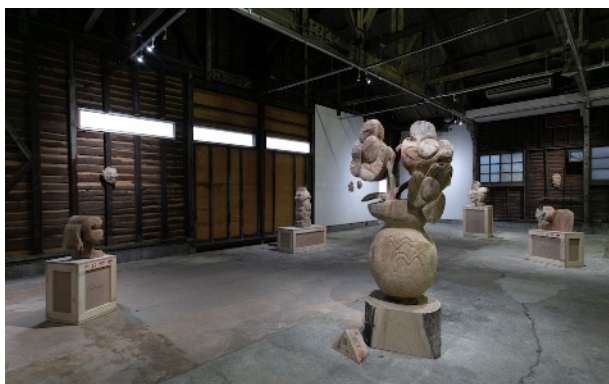
n. NAZE | FINCH ARTS



o. 木村剛士 | TEZUKAYAMA GALLERY



p. ケビン・ハイスナー | J-Collabo/BEAF



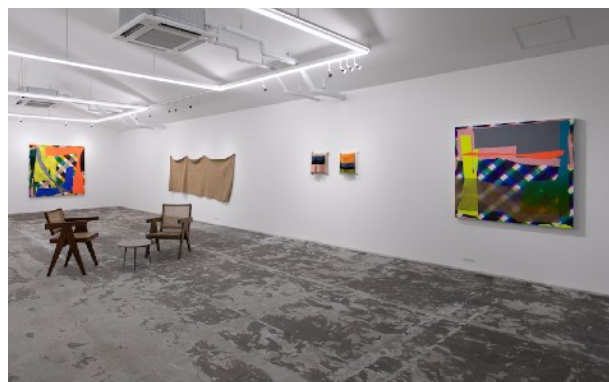
q. 葭村太一 | Marco Gallery



r. artists for streetsummit 2023 Dotmasters & 久村卓 | ギャラリーかわまつ



s. 岡田佑里奈 | biscuit gallery



t. 松岡柚歩 | CANDYBAR Gallery



u. 学生ツアーの様子

トークプログラム

現代美術に関わる人々の裾野を広げるため、トークプログラムを実施しました。

Expanded レビュー&トーク

美術作品の社会的な役割やExpandedセクションの可能性を事例紹介を交えながらトークセッションを行いました。

日 時：7月26日（水）18:00～19:30 *オンライン同時配信

会 場：クリエイティブセンター大阪 2F

ゲスト：金澤韻（現代美術キュレーター）、木坂葵（千島土地株式会社）

司 会：櫻岡聡（FINCH ARTS ディレクター）

福岡伸一講演会「ハカセが愛してやまないアート：フェルメールからムパタ」

生物学者であると同時に、フェルメール愛好家として知られている福岡伸一氏をお招きし、私達がアートを愛すること、アートをコレクションすることについて、福岡氏自身のアート遍歴を紐解きながら語っていただきました。

日 時：7月30日（日）13:30～15:00 *オンライン後日配信

会 場：大阪市中央公会堂 地下1F 大会議室

ゲスト：福岡伸一（生物学者 / 作家）

司 会：加藤義夫（一般社団法人日本現代美術振興協会 理事）

協 力：小出由紀子事務所

アートクルーズ&トーク

中之島エリア～堂島川～木津川～北加賀屋エリア間をクルーズで移動しながら、大阪に因んだゲストを招きトークセッションを行いました。

実施日：7月29日（土）12:00～14:40

共 催：クリエイティブアイランド中之島実行委員会

企画・進行：木ノ下智恵子（大阪大学21世紀懐徳堂、アートエリアB1）

協 力：一本松海運株式会社

往 路：トークテーマ「文化エリア・中之島が目指すところ」

ゲスト：島敦彦（国立国際美術館館長）、服部滋樹（graf代表）

復 路：トークテーマ「おおさか・水辺・アート」

ゲスト：大崎のぶゆき（美術家）、大洲大作（美術家）



地域連携

地域の団体と協働し、特別公開や関連企画、相互割引を実施いただきました。

[北加賀屋エリア] 連携期間：7月28日（金）～30日（日）

協力・企画：千島土地株式会社

- ・特別公開：MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) / Super Studio Kitakagaya (SSK)
M@M (モリムラ@ミュージアム) / 千鳥文化

- ・関連イベント：北加賀屋クロール

北加賀屋の店舗をチケット制で巡る回遊型イベント。

[中之島エリア]

- ・関連企画 展覧会「間 そうぞうのよはく」

会期：7月28日（金）～8月5日（土） / 会場：graf porch

出展作家：新井碧、今村源、黒川岳、今野健太、西條茜、マーサ・タトル、
松延総司、和田直祐

企画：DELTA 協力：graf、ART OSAKA

- ・相互割引 連携施設：国立国際美術館 [7月8日（土）～8月6日（日）]

graf shop & kitchen [7月28日（金）～30日（日）]

企画協力：クリエイティブアイランド中之島実行委員会

来場者サービス

休憩場所、カフェの設置

出展協力：中之島ソーシャルイートアウェイク、COCHI CAFÉ、GERATERIA solege

無料シャトルバスの運行

運用期間：7月28日（金）～30日（日）

両セクションの同時オープンに合わせて、無料シャトルバスを運行しました。

大型バス・小型バス（計2台）1時間毎に発着

電動マイクロモビリティのシェアサービス「LUUP」の仮設

運用期間：7月26日（水）～31日（月）

電動キックボードと自転車の仮設を行いました。北加賀屋エリア5箇所にポートを設置し、本会場と周辺施設、地下鉄「北加賀屋駅」間のアクセスを向上に努めました。



Super Studio Kitakagaya / 撮影：増田好部



間 そうぞうのよはく メインビジュアル / デザイン：塩谷啓悟



COCHI CAFÉ



GERATERIA solegeのキッチンカー

メディア掲載

新聞：読売新聞 / 日本経済新聞 / 産経新聞 全3社

雑誌：「和楽」「GINZA」「ELLE JAPON」「日経大人のOFF 臨時増刊号『大人アート旅別冊』」「ARTアートなおでかけ関西版」「月刊アートコレクターズ7月号」「見本市展示会通信」「月刊ギャラリー2月号」「住之江区報 さざんか7月号」全9社

機内誌：「"Going Places" for Malaysia Airlines」全1社

web：「美術手帖WEB」「ARTnews JAPAN」「VOGUE online」「CASA BRUTUS web」「CINRA」「paper C」ほか、全36サイト

ラジオ：大阪FM「COCOLO Ciao 765」NHK大阪放送局「関西ラジオワイド」全2放送



「読売新聞夕刊」(7/15発行)



「和楽」



「GINZA」



「"Going Places" for Malaysia Airlines」



「美術手帖WEB」



「ARTnews JAPAN」



「VOGUE online」

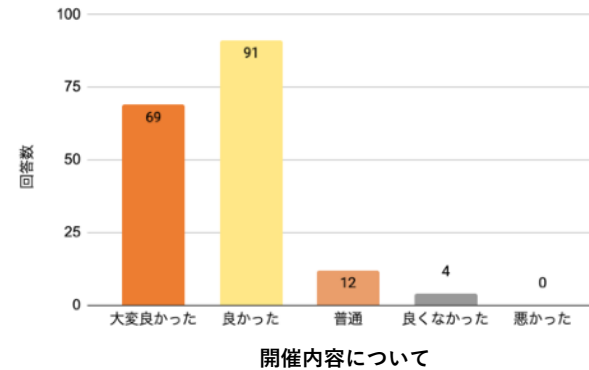
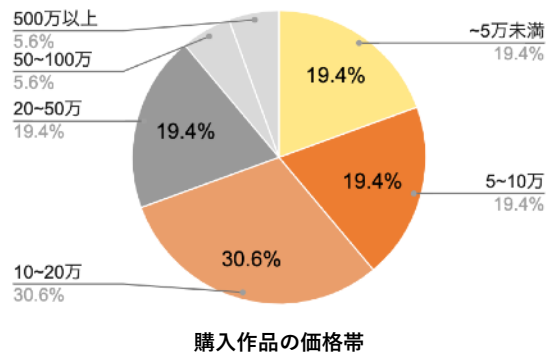
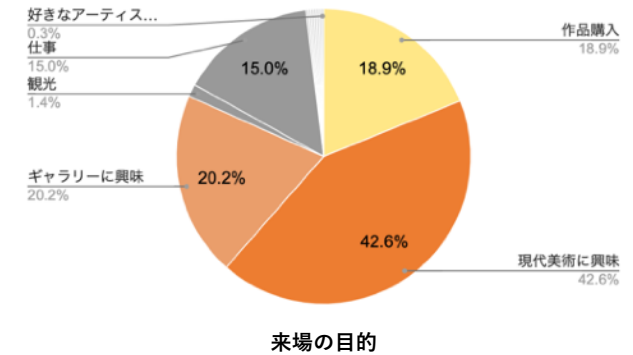
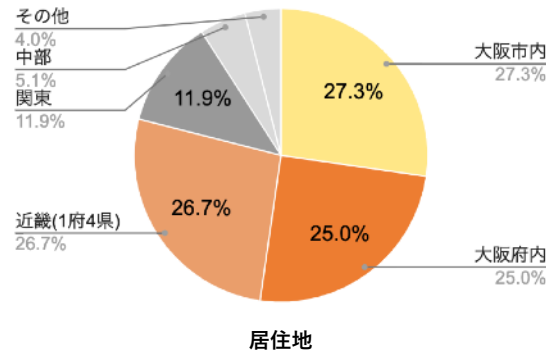
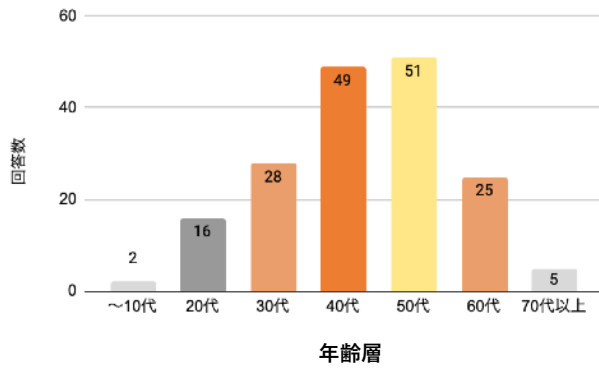


「CASA BRUTUS web」



「CINRA」

来場者アンケートより 回答数：176



来場者の声

- ・たくさんの作品が鑑賞できて、非常に刺激になった。また、以前より気になっていた作家さんの作品を購入できて、良かったです。(40代・会社員)
- ・未知の作品との出会いを期待して毎年足を運んでいます。財布の許す限りですが、作品の購入も考えております。来年も楽しみにしております。(50代・自営業)
- ・今年はGalleriesセクションに更に海外のギャラリーやお客が増え、よりグローバルを意識できるアートフェアとなりました。(20代・学生)
- ・ギャラリーやアーティストから直接お話を伺いできる機会があったのがとても良かったです。(複数)
- ・広すぎず狭すぎずで、大変見やすかった。文化的な建物を使用した点も良いと思いました。(50代・会社員)
- ・Expandedがとても刺激的でした。いい意味でアートフェアというより、ピエンナーレ感があった。猛暑でしたが街ごと面白いと感じました。(20代・会社員)
- ・展覧会形式のセクションがあることで、他のフェアとの差別化がなされていて良かった。(30代・自営業)

今後に向けて

ギャラリスト達の手で作り上げてきた「ART OSAKA」は、創設以来約20年に渡って、現代美術の普及、作品をコレクションする社会的意義を広めてきました。国内外でアートフェアが増えている中で、私達は、関西・大阪に根ざし、地域の皆さまと連携しながら、国際的に通用する質の高い現代美術作家の発表の場や、新しい作品との出会いの場、そしてそれを享受する社会環境の整備に尽力していく所存です。

2025年の大阪・関西万博の開催、その後の文化芸術のよりよい発展のために今後も努めて参りますので、来年もぜひご期待ください。

主催・運営：一般社団法人日本現代美術振興協会（APCA）

理 事

代表理事	森裕一 / MORI YU GALLERY
副代表理事	井上佳昭 / Yoshiaki Inoue Gallery
理事	林聡 / ギャラリーノマル
	石田克哉 / MEM
	加藤義夫 / 加藤義夫芸術計画室
	八木光恵 / アートコートギャラリー
	山口孝 / ギャラリーヤマグチ クンストバウ
監事	松尾良一 / TEZUKAYAMA GALLERY
顧問	細川佳洋子 / ギャラリーほそかわ

ART OSAKA 事務局

ゼネラル マネジャー	宮本典子
マネジャー	室谷智子
	川西遥
アシスタント マネジャー	中島悠里

エキシビターリレーションズ

Expanded	松尾良一 / TEZUKAYAMA GALLERY
	櫻岡聡 / FINCH ARTS
Galleries	岡田慎平 / TEZUKAYAMA GALLERY
	原田雄 / Yu Harada

パブリックリレーションズ

プレス	小泉智子
SNS	熊野豊
	玉置慎輔

広報物デザイン 佐藤大介 / sato design

WEB・システム
デザイン 境隆太

写真撮影 待夜由衣子
田浦ボン

翻訳 ブラザトン・ダンカン

